

CABLE MODEM

下り入力周波数 88~1002MHz
上り出力周波数 5~ 65MHz

7TCM8

AC100V方式

双方向CATVシステムで、インターネットサービスを利用するためのケーブルモデムです。

DOCSIS 3.0準拠



目次

ページ

付属品	1
安全上のご注意	1, 2
使用上のご注意	2
各部の名称と機能	3
設置方法	3
接続方法	4
規格表	4

付属品

ACアダプター 1個
LANケーブル(約1.8m) 1本
(カテゴリ 5e, ストレートタイプ)

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」(p.1, 2)をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(警告)が必要な内容があることを示しています。



○記号は、禁止の行為を示しています。



●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告

	●ACアダプターは、AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。		●ACアダプターを風呂場やシャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●ACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。		●万一、ACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いてケーブルテレビ局にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	●ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、熱器具に近付けたりしないでください。ACアダプターのコードが破損して、火災・感電の原因となります。ACアダプターのコードが傷んだ場合(芯線の露出や断線など)、ケーブルテレビ局に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。		●万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いが出なくなるを確認して、ケーブルテレビ局に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
	●ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。		●万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いてケーブルテレビ局にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	●ACアダプターのカバーを取外したり、改造したりしないでください。また、ACアダプターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理はケーブルテレビ局にご依頼ください。		●ACアダプターと本機は、必ずセットでご使用ください。他の機器または他のメーカーのものと合わせて使用しないでください。火災の原因となります。
	●雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。		●ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。隙間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
	●濡れた手で、ACプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。		

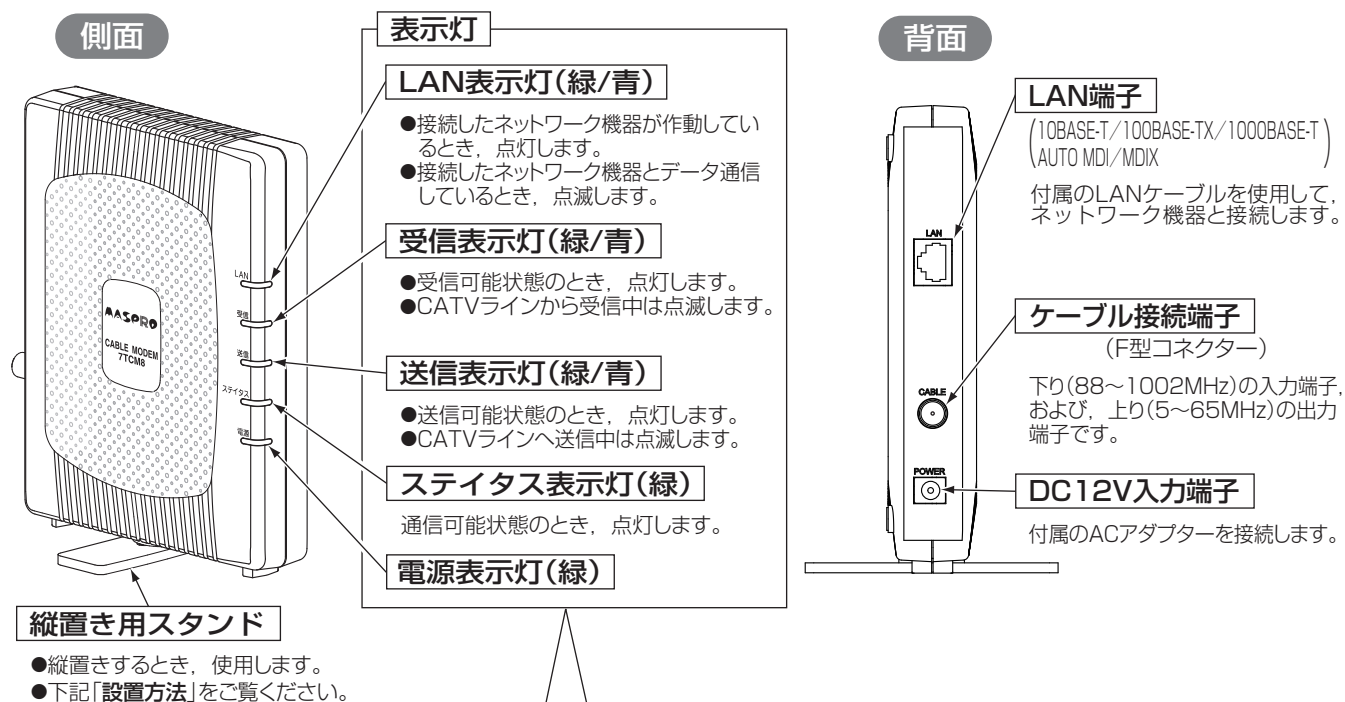
注意

	●本機は、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となることがあります。		●ACプラグをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。
	●ACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。		●本機を移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
	●ACアダプターは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。		●お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
	●ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 ・押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたん・布団の上に置いたりする。 ・布や布団でおおったり、包んだりする。		●旅行などで長期間使用しないときは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
			●雷の発生が予想されるときは、前もって、ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

雷の発生が予想されるときは、ACプラグをACコンセントから抜き、本機に接続してあるLANケーブルを取外してください。接続したままにすると、落雷による異常電圧で、本機や接続しているパソコンやネットワーク機器が故障することがあります。

各部の名称と機能



表示灯で、本機の作動状態がわかります。

○：点灯 ◎：点滅 —：消灯

作動の流れ	作動状態	表示灯				
		LAN	受信	送信	ステイタス	電源
↓	起動中 (通信不可)	初期化中	○(緑)	○(緑)	○(緑)	○(緑)
			○(青)	○(青)	○(青)	—
		数秒間消灯				
		下り信号サーチ中	○※1	◎(緑)	—	○(緑)
	通信可能(正常状態)	上り接続中	○※1	○(緑)	◎(緑)	—
		サーバー通信中	○※1	○(緑)	○(緑)	◎(緑)
			○※1	○※2	○※3	○(緑)

※1 ●10BASE-T/100BASE-TXのネットワーク機器に接続されているとき、緑色に点灯します。

●1000BASE-Tのネットワーク機器に接続されているとき、青色に点灯します。

※2 下りチャンネルボンディング※状態のとき、青色に点灯します。

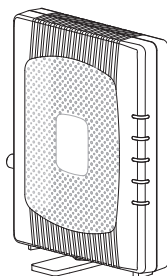
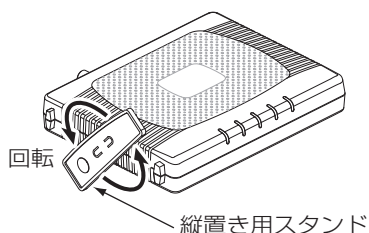
※3 上りチャンネルボンディング※状態のとき、青色に点灯します。

※チャンネルボンディング：ケーブルテレビ網で使用する周波数帯域(チャンネル)を複数束ねて(ボンディング)使用し、通信速度を高速化する技術。

設置方法

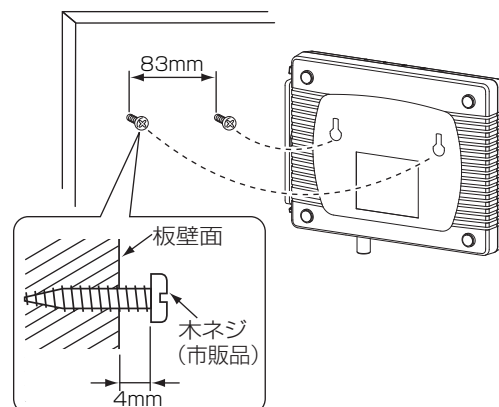
縦置き

- ① 縦置き用スタンドを90°回転します。
- ② 本機を設置します。



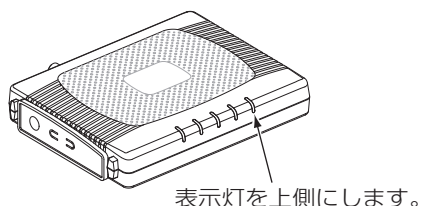
板壁面

市販の直径3~4mmの木ねじ(2本)で板壁面に取付けます。



据置き

縦置き用スタンドを使用しないで横置きにできます。



ご注意

- 本機を発熱する物の上に置いたり、風通しの悪いところに押し込んだりしないでください。安定した通信の妨げや故障の原因となります。
- 縦置き設置の場合、ケーブルの引っ張り方に注意してください。転倒の原因となります。

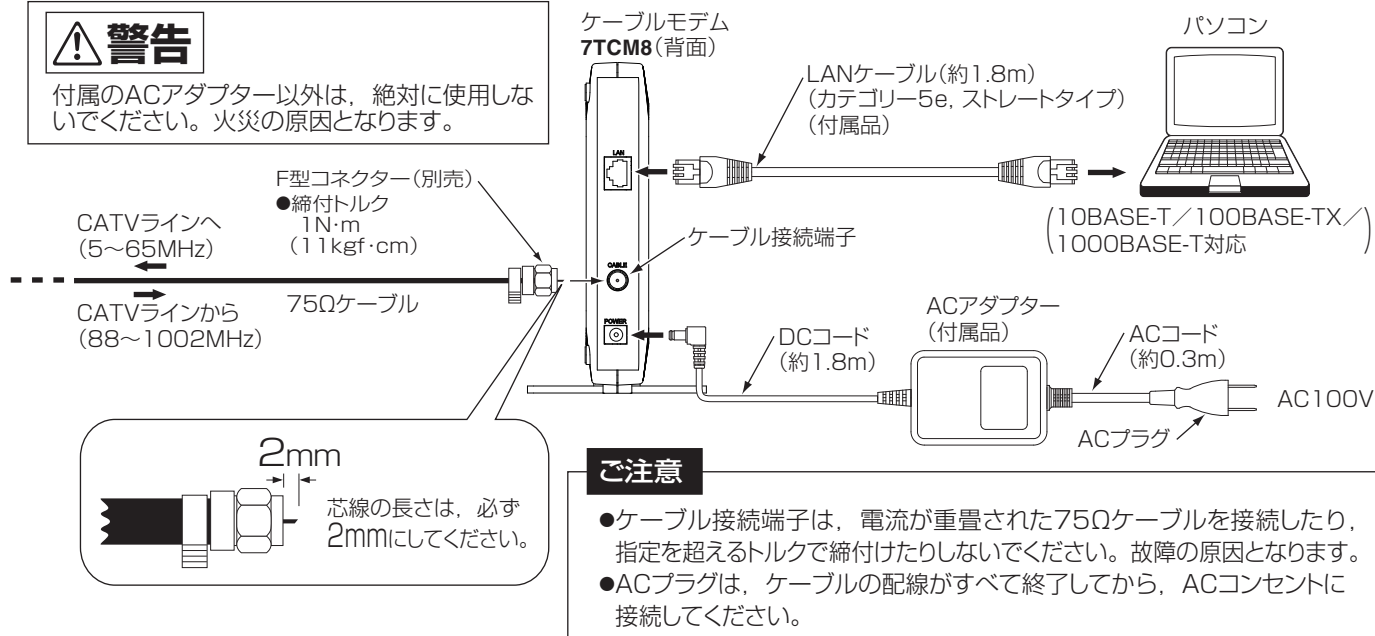
接続方法

付属のLANケーブルで、本機とパソコンやスイッチングハブなどのネットワーク機器を接続します。



警告

付属のACアダプター以外は、絶対に使用しないでください。火災の原因となります。



ご注意

- ケーブル接続端子は、電流が重畳された75Ωケーブルを接続したり、指定を超えるトルクで締め付けたりしないでください。故障の原因となります。
- ACプラグは、ケーブルの配線がすべて終了してから、ACコンセントに接続してください。

規格表 Specifications

ケーブルモデム(本体)

項目 Items	規格	
	下り	上り
入力周波数 Input Frequency	88~1002MHz (サーチ範囲はソフトウェア制御による)	—
出力周波数 Output Frequency	—	5~65MHz
入力レベル範囲 Input Level Range	45~75dBμV(平均値)	—
出力レベル範囲 Output Level Range	—	TDMA QPSK : 77~121dBμV(平均値) ※1 8QAM, 16QAM : 77~118dBμV(平均値) ※1 32QAM, 64QAM : 77~117dBμV(平均値) ※1 S-CDMA すべての変調方式 : 77~116dBμV(平均値) ※2
チャンネルボンディング数 Bonding Channel	最大8チャンネル	最大4チャンネル
占有帯域幅(1チャンネルあたり) Occupied Bandwidth	6MHz	TDMA : 0.2MHz, 0.4MHz, 0.8MHz, 1.6MHz, 3.2MHz, 6.4MHz S-CDMA : 1.6MHz, 3.2MHz, 6.4MHz
変・復調方式 Type of Modulation/Demodulation	64QAM, 256QAM	QPSK, 8QAM, 16QAM, 32QAM, 64QAM, 128QAM(S-CDMAのみ)
ケーブル接続端子 Cable Interface	F型コネクタ(75Ω)	
LAN端子 Customer Premise Equipment Interface	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T(RJ-45), AUTO MDI/MDIX	
電源 Power Requirements	DC12V 1A(付属のACアダプターを使用)	
消費電力 Power Consumption	約10W	
使用温度範囲 Temperature Range	0~+40℃	
外観寸法 Dimensions	164(H)×33(W)×125(D)mm(突起部を含まず) ※3	
質量(重量) Weight	約290g	

※1 2チャンネルボンディング時の最大値は○3dB。3, 4チャンネルボンディング時の最大値は○6dB。

※2 2, 3, 4チャンネルボンディング時の最大値は○3dB。

※3 縦置きスタンド幅 89mm

ACアダプター(CM8-PS12V)

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
出力電圧(電流) Output Voltage/Current	DC12V(1A)
使用温度範囲 Temperature Range	0~+40℃
外観寸法 Dimensions	49(H)×57(W)×82(D)mm (突起部を含まず) ACコード長 約0.3m DCコード長 約1.8m
質量(重量) Weight	約480g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい
= マスプロ電工 =

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
技術相談

0570-091119

ナビダイヤル® 固定電話からは全国一律料金でご利用できます
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは 052-805-3366
受付時間 9~12時 13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

首都圏電材(営) (03) 5469-5521
首都圏(シ) (03) 3499-5632
西日本(シ) (082) 230-2359
中日本(シ) (06) 6632-1144
北日本(シ) (022) 786-5062

福岡(支) (092) 551-1711
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 812-1200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 864-6001

北九州 (093) 941-4026
下関 (083) 255-1130
広島(支) (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
岡山 (089) 973-5656
高松 (088) 882-0991
高知 (087) 865-3666

大阪(支) (06) 6635-2222
姫路 (079) 234-6669
神戸 (078) 231-6111
京都 (075) 646-3800
東海(工) (052) 804-6262

名古屋(支) (052) 802-2233
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301

関東(工) (03) 3499-5631
東京(支) (03) 3409-5505
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
八王子 (042) 637-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000

前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 636-1210
仙台(支) (022) 786-5060
郡山 (024) 952-0095
盛岡 (019) 641-1500
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111

(営) : 営業グループ
(シ) : システム営業グループ
(工) : 工事グループ